

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社アバールデータ  
 コード番号 6918 URL <http://www.avaldata.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 嶋村 清  
 (氏名) 大関 拓夫

TEL 042-732-1000

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	686	△55.8	△238	—	△187	—	△76	—
21年3月期第1四半期	1,552	—	4	—	52	—	63	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△9.95	—
21年3月期第1四半期	8.14	8.13

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	10,054	9,196	85.3	1,119.46
21年3月期	10,112	9,259	85.3	1,113.52

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 8,581百万円 21年3月期 8,630百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	1,840	△40.6	△220	—	△160	—	△100	—	△13.05
連結累計期間	4,260	△20.1	△210	—	△100	—	△70	—	△9.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 8,064,542株 21年3月期 8,064,542株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 398,827株 21年3月期 314,227株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 7,717,213株 21年3月期第1四半期 7,816,373株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機による深刻な景気後退に一部で下げ止まりの兆しが見られてきましたが、企業収益の悪化や設備投資の減少が続いており、雇用情勢や所得環境の悪化が懸念されるなど、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループに関連深い半導体製造装置業界におきましては、半導体メモリー価格の下げ止まりが見られ半導体全体の生産量も改善しましたが、半導体メーカーの大幅な設備投資の抑制は継続しており、半導体製造装置市場の需給環境は依然として厳しい状況であります。また半導体製造装置以外の設備産業全般も景気後退の影響により需要が一段と悪化し、当社グループを取り巻く事業環境はかつて経験したことのない厳しいものとなっております。

このような厳しい経営環境のもと、当社グループは顧客の信頼を得るため、品質の確保、コストの低減及び高付加価値製品展開による新規顧客開拓や新製品投入に取り組みました。

画像・通信分野においては、情報の高速・大容量伝送を可能にする自社LSIにより、自社製品の高付加価値製品展開の基礎として新規顧客の開拓、製品の差別化・競争力の向上が図られました。今後更なる高速化に向け自社LSI開発を推進するとともに、受託製品の営業展開においても提案営業のキーデバイスとして積極的に活用してまいります。

また当社グループは、このような受注の継続的な低迷に対応すべく外注費の見直し、残業の抑制及び定期的な休業(教育訓練)を実施し、あらゆる経費の見直しを行い引続き固定費の削減に努めました。しかしながら、前述の受注の大幅な減少の影響を補うことはできず、この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は686百万円(前年同四半期比55.8%減)、営業損失は238百万円(前年同四半期は4百万円の利益)、経常損失は187百万円(前年同四半期は52百万円の利益)、四半期純損失76百万円(前年同四半期は63百万円の利益)となりました。

品目別売上高の状況は次のとおりであります。

## ① 受託製品 半導体製造装置関連

当該品目は、半導体製造装置の制御部を提供しております。半導体メモリー価格の下げ止まりが見られ半導体全体の生産量も改善しましたが、半導体メーカーの大幅な設備投資抑制の継続により半導体製造装置市場の低迷は長期化しており、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は204百万円(前年同四半期比63.4%減)となりました。

## ② 受託製品 産業用制御機器

当該品目は、各種の産業用装置、分析機器等の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。新製品の投入や新規顧客開拓が進んだものの、FA全般の減速傾向が更に強まり、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は174百万円(前年同四半期比39.2%減)となりました。

## ③ 受託製品 計測機器

当該品目は、各種計測機器のコントローラ、通信機器の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。中でも電力関連機器につきましては住宅関連需要の低迷により、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は84百万円(前年同四半期比54.8%減)となりました。

## ④ 自社製品 組込みモジュール

当該品目は、半導体製造装置、FA全般、電力・通信関連向けに提供しております。その中で最も売上比率が高い半導体製造装置関連の需要低迷に加えFA全般も更に減速傾向が強まり、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は63百万円(前年同四半期比61.2%減)となりました。

## ⑤ 自社製品 画像処理モジュール

当該品目は、FA全般、各種検査装置、液晶関連機器に提供しております。自社LSIを搭載した新シリーズの発売などによる製品競争力の強化を行いました。売上比率が高い液晶関連機器の設備投資抑制に加えFA全般も更に減速傾向が強まり、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は52百万円（前年同四半期比64.1%減）となりました。

⑥ 自社製品 計測通信機器

当該品目は、超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」シリーズ、FAX サーバ・コールセンター向け CTI（Computer Telephony Integration）及びリモート監視機器を提供しております。その中で「GiGA CHANNEL」シリーズは、自社 LSI を搭載した新シリーズの発売などによる製品競争力の強化を行いました。半導体製造装置業界の低迷に加え FA 全般も更に減速傾向が強まり、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は91百万円（前年同四半期比37.9%減）となりました。

⑦ 商品 自社製品関連商品

当該品目は、自社製品の組込みモジュール、画像処理モジュール、計測通信機器の販売促進とシステム販売による高付加価値化を図るためのソフトウェア及び付属の周辺機器を提供しております。自社製品全般が減速傾向に転じる中、連鎖的にその影響を受け、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は15百万円（前年同四半期比75.8%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から57百万円減少し10,054百万円となりました。流動資産につきましては、主に、現金及び預金が148百万円増加、受取手形及び売掛金が302百万円減少、商品及び製品が11百万円減少、仕掛品が16百万円減少、原材料及び貯蔵品が20百万円減少、その他が未収入金の減少等により34百万円減少した結果、236百万円減少し5,554百万円となりました。固定資産につきましては、主に、有形固定資産が32百万円減少、投資その他の資産が218百万円増加した結果、178百万円増加し4,500百万円となりました。

負債につきましては、流動負債においては、主に、支払手形及び買掛金が66百万円減少、その他が預り金及び未払費用等の増加により36百万円増加した結果、27百万円減少し353百万円となりました。固定負債においては、主に、その他が繰延税金負債の増加により31百万円増加した結果、32百万円増加し504百万円となりました。この結果、負債合計では、4百万円増加し858百万円となりました。

純資産の部につきましては、主に、利益剰余金が138百万円減少、自己株式が40百万円増加、その他有価証券評価差額金が130百万円増加、少数株主持分が15百万円減少した結果、前連結会計年度末から62百万円減少し9,196百万円となりました。また、自己資本比率は、前連結会計年度末の85.3%と同ポイントの85.3%となりました。

また、キャッシュ・フローの状況はつぎのとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費の計上、売上債権、たな卸資産及び未収入金の減少等の増加要因が、税金等調整前四半期純損失の計上、仕入債務の減少等の減少要因を上回ったことにより、215百万円の増加（前年同四半期は292百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入等といった増加要因が、有形固定資産の取得といった減少要因を上回ったことにより、30百万円の増加（前年同四半期は43百万円の増加）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間におけるフリー・キャッシュフローは、246百万円の増加（前年同四半期は335百万円の増加）であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払及び自己株式の取得等の減少要因により、97百万円の減少（前年同四半期は70百万円の減少）となりました。

以上、営業活動、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローの結果により、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ、148百万円増加し、2,807百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、本資料発表日現在において、平成21年5月15日の平成21年3月期決算短信で公表いたしました数値から変更はありません。

今後、当社グループを取り巻く環境が著しく変化した場合等、業績に影響を及ぼす事態が生じた場合には速やかに適時開示を行います。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,297,779	3,149,219
受取手形及び売掛金	518,989	821,019
有価証券	10,130	10,124
商品及び製品	432,922	443,999
仕掛品	266,492	283,121
原材料及び貯蔵品	554,839	575,467
その他	473,452	507,833
流動資産合計	5,554,606	5,790,786
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,316,699	1,316,699
その他(純額)	1,134,162	1,166,778
有形固定資産合計	2,450,862	2,483,478
無形固定資産		
投資その他の資産	74,602	81,726
投資有価証券	1,895,556	1,677,058
その他	110,045	110,549
貸倒引当金	△30,763	△30,783
投資その他の資産合計	1,974,837	1,756,824
固定資産合計	4,500,302	4,322,029
資産合計	10,054,908	10,112,816
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	155,414	222,106
賞与引当金	91,996	89,476
その他	105,985	69,321
流動負債合計	353,396	380,904
固定負債		
退職給付引当金	84,281	83,268
役員退職慰労引当金	77,030	77,030
その他	343,628	312,247
固定負債合計	504,939	472,546
負債合計	858,336	853,450

(単位:千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354,094	2,354,094
資本剰余金	2,459,689	2,459,689
利益剰余金	3,061,982	3,200,733
自己株式	△149,279	△109,156
株主資本合計	7,726,486	7,905,361
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	855,002	724,804
評価・換算差額等合計	855,002	724,804
新株予約権	2,210	1,105
少数株主持分	612,871	628,094
純資産合計	9,196,572	9,259,366
負債純資産合計	10,054,908	10,112,816

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,552,059	686,068
売上原価	1,120,012	578,668
売上総利益	432,046	107,400
販売費及び一般管理費	427,620	345,568
営業利益又は営業損失(△)	4,426	△238,167
営業外収益		
受取利息	1,194	1,038
受取配当金	43,086	33,984
助成金収入	—	12,865
その他	4,500	2,631
営業外収益合計	48,781	50,519
営業外費用		
為替差損	508	—
支払手数料	—	183
営業外費用合計	508	183
経常利益又は経常損失(△)	52,699	△187,830
特別利益		
投資有価証券売却益	40,224	32,106
その他	—	20
特別利益合計	40,224	32,126
特別損失		
固定資産売却損	80	—
固定資産除却損	54	492
特別損失合計	135	492
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	92,788	△156,196
法人税、住民税及び事業税	18,516	1,724
法人税等調整額	13,453	△69,698
法人税等合計	31,969	△67,974
少数株主損失(△)	△2,778	△11,472
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63,597	△76,748



## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	92,788	△156,196
減価償却費	50,506	42,872
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,419	2,520
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,198	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△50	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,405	1,012
受取利息及び受取配当金	△44,280	△35,023
助成金収入	—	△12,865
固定資産除却損	54	492
固定資産売却損益(△は益)	80	—
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△40,224	△32,106
売上債権の増減額(△は増加)	98,505	302,030
たな卸資産の増減額(△は増加)	122,528	48,334
未収入金の増減額(△は増加)	102,744	64,890
仕入債務の増減額(△は減少)	△120,776	△66,691
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,590	1,567
その他	52,385	22,707
小計	262,829	183,544
利息及び配当金の受取額	43,685	34,437
助成金の受取額	—	3,899
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△14,372	△6,632
営業活動によるキャッシュ・フロー	292,142	215,248
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,000	—
定期預金の払戻による収入	12,000	—
投資有価証券の取得による支出	△99,797	—
投資有価証券の売却による収入	141,619	32,314
有形固定資産の取得による支出	△2,962	△1,768
無形固定資産の取得による支出	△4,078	—
その他	512	387
投資活動によるキャッシュ・フロー	43,292	30,933
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△40,123
配当金の支払額	△53,229	△53,742
少数株主への配当金の支払額	△17,250	△3,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,479	△97,616
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	264,955	148,565
現金及び現金同等物の期首残高	1,910,592	2,659,344
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,175,548	2,807,909

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

品 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額(千円)	前年同四 半期比(%)	金額(千円)	前年同四 半期比(%)
受託製品				
半導体製造装置関連	373,429	—	201,837	△46.0
産業用制御機器	191,960	—	145,205	△24.4
計測機器	170,068	—	93,183	△45.2
小計	735,458	—	440,226	△40.1
自社製品				
組込みモジュール	100,616	—	44,309	△56.0
画像処理モジュール	83,523	—	31,109	△62.8
計測通信機器	71,510	—	41,355	△42.2
小計	255,649	—	116,774	△54.3
合計	991,108	—	557,000	△43.8

(注) 1 金額は製造原価にて表示しております。

2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

3 前第1四半期連結累計期間の前年同四半期比につきましては、四半期適用初年度であるため記載しておりません。

## (2) 商品仕入実績

品 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額(千円)	前年同四 半期比(%)	金額(千円)	前年同四 半期比(%)
自社製品関連商品	55,710	—	10,589	△81.0
合計	55,710	—	10,589	△81.0

(注) 1 金額は仕入価格にて表示しております。

2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

3 前第1四半期連結累計期間の前年同四半期比につきましては、四半期適用初年度であるため記載しておりません。

## (3) 受注状況及び販売状況

## ① 受注高

品目	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
	金額(千円)	前年同四 半期比(%)	金額(千円)	前年同四 半期比(%)
半導体製造装置関連	632,681	—	232,007	△63.3
産業用制御機器	253,894	—	170,892	△32.7
計測機器	238,513	—	125,709	△47.3
合計	1,125,090	—	528,609	△53.0

## ② 受注残高

品目	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
	金額(千円)	前年同四 半期比(%)	金額(千円)	前年同四 半期比(%)
半導体製造装置関連	269,947	—	93,707	△65.3
産業用制御機器	202,727	—	153,575	△24.2
計測機器	153,942	—	106,436	△30.9
合計	626,617	—	353,719	△43.6

## ③ 販売実績

品目	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
	金額(千円)	前年同四 半期比(%)	金額(千円)	前年同四 半期比(%)
受託製品				
半導体製造装置関連	559,524	△53.2	204,951	△63.4
産業用制御機器	286,030	22.1	174,037	△39.2
計測機器	187,202	△14.2	84,576	△54.8
小計	1,032,757	△37.3	463,566	△55.1
自社製品				
組込みモジュール	162,420	△42.4	63,099	△61.2
画像処理モジュール	145,595	1.0	52,275	△64.1
計測通信機器	147,895	△29.0	91,790	△37.9
小計	455,911	△28.1	207,165	△54.6
商品				
自社製品関連商品	63,390	202.1	15,336	△75.8
合計	1,552,059	△32.6	686,068	△55.8

(注) 1 金額は販売価格にて表示しております。

2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

3 ①受注高及び②受注残高の前第1四半期連結累計期間の前年同四半期比につきましては、四半期適用初年度であるため記載しておりません。